

平成 26 年 2 月 28 日

専門委員会開催報告

| | |
|--------|---|
| 専門委員会名 | 第 2 回「水素安全対策高度化」特別専門委員会 |
| 開催日時 | 平成 26 年 1 月 30 日(木) 13:30~16:00 |
| 開催場所 | 三菱総合研究所 4 階 CR-B 会議室 |
| 参加人数 | 17 名 村松主査、小川幹事、成宮委員、小林委員、荻野委員、新山委員、上田委員、中村委員、オブザーバー1 名、発表者 1 名、事務局 7 名 |
| 議 事 | <p>1. 主査挨拶 村松主査から挨拶がなされた。</p> <p>2. 前回議事録確認 事務局の JAEA 日野氏が前回議事録の確認を行った。</p> <p>3. 一般公開セミナー報告 村松主査が一般公開セミナーの開催報告を行った。</p> <p>4. 原子力学会春の年会企画セッションの説明 事務局の JAEA 日野氏が原子力学会春の年会企画セッションの企画説明を行った。</p> <p>5. 次年度活動計画 村松主査が次年度活動計画(案)の説明を行い、計画案は承認された。</p> <p>6. トピックス 最近のトピックスについて発表があり、活発な質疑応答が行われた。 (1)NEA における水素熱流動にかかわる活動(中村委員) (2)超音波方式水素濃度モニターの水素混合流への適用性(JAEA 平林)</p> <p>7. 全体討議 ・次年度は委員を 2 名ほど追加する予定である。 ・大学で熱流動を研究しており、長期的な検討が期待できる中堅研究者の関与が望ましく、計算科学等の分野で協力を依頼したい。 ・1F 事故の教訓から、水素発生の起点である水の放射線分解の詳細な検討が重要である。次回会合では、JAEA 永石氏に放射線分解に関するトピックを発表してもらおうよう調整する。</p> |
| 備 考 | |

平成 25 年 11 月 13 日

専門委員会開催報告

| | |
|--------|--|
| 専門委員会名 | 第 1 回「水素安全対策高度化」特別専門委員会 |
| 開催日時 | 平成 25 年 9 月 18 日(水) 10:20~12:00 |
| 開催場所 | 日本科学未来館 7 階 会議室 CR-1 |
| 参加人数 | 18 名 村松主査、小川幹事、成宮委員、小林委員、荻野委員、中田委員、新山委員、上田委員、オブザーバー2 名、事務局 8 名 |
| 議 事 | <p>1. 委員(自己)紹介・主査選出 各委員、オブザーバーの自己紹介が行われた。</p> <p>2. 主査挨拶(趣旨説明) 村松主査から、本特別専門委員会の趣旨説明が行われた。</p> <p>3. 水素熱流動に係わる解析の現状と課題(JAEA 寺田) JAEA の寺田氏が水素熱流動に係わる解析の現状と課題について紹介し、質疑応答が行われた。</p> <p>4. 公開セミナーについて (1) セミナー趣旨紹介(小川幹事) (2) プログラム紹介(小川幹事) ・ 公開セミナーを明日 9 月 19 日に開催する。第 1 回目となる今回は、これまでの活動について、また EU など海外の State of the art ともいうべき情報を得るという趣旨で行う。次回以降のセミナーは、委員会での議論を踏まえプログラムを組む予定である。</p> <p>5. 全体討議 ・ 本委員会では、JAEA 事業の検討にとどまらず、より広い視点・観点で、水素安全高度化を検討していきたい。 ・ 次年度以降は、熱流動部会としてリーダーシップを発揮してもらい、検討を深めていくこととする。 ・ 次回委員会は、12 月か遅くとも翌年 1 月に開催することとする。その際、原子力学会の春の企画セッション、またセミナーの方針について打合せを行う。開催案内は、後日、事務局から配信する。</p> |
| 備 考 | |